



I★I★A★ ニュース

市川市国際交流協会（隔月刊）

I. I. A. ホームページ www.ija21.jp

e-mail: info@ija21.jp

編集発行：市川市国際交流協会 PR 委員会

発行責任者：篠原 剛

〒272-0021 市川市八幡 2-4-8

Tel 047(332)0100 Fax 047(332)0101

コンテンツ

- 平成25年度 I I A 総会開催・・・・・・・・・・ 1、2面
- 市長記念講演・市国際交流課の新陣容・・・・・・・・ 2面
- 平成25年度主要事業一覧・・・・・・・・・・ 3面
- 各委員長等新年度の抱負・・・・・・・・・・ 4面
- 市川市在住外国人登録者数・・・・・・・・・・ 4面
- イッシー市委員会発足・・・・・・・・・・ 5面
- 5～7月のイベント情報・・・・・・・・・・ 5面
- 終了行事の報告・・・・・・・・・・ 6、7面
- 新入会員紹介・・・・・・・・・・ 7、8面
- 法人会員紹介・イチメール・編集後記・・・・・・・・ 8面

予算編成方法を変更

平成25年度市川市国際交流協会総会開催 4月27日



挨拶に立たれた笹本会長

平成25年度市川市国際交流協会総会は4月27日（土）午前10時から市川市文化会館「ローズルーム」で I I A 会員、市担当部局職員ら100名余が出席して開催されました。冒頭、会長から先の中国四川省で起きた地震被害に対するお見舞が述べられ、友好都市である樂山市の被害状況が樂山市委員長から報告されました。樂山市からの連絡では幸い被害は大きくないとのことでした。ついで笹本会長が挨拶され、「平成24年度は行事が多い多忙の年であったが、各委員会、会員の協力を得て大きな成果を残せた。これからも皆様の理解と協力をお願いしたい」と述べられました。続いて市川市文化国際部安井部長から新任の挨拶と国際交流課新体制（別掲）の紹介がありました。

笹本会長を議長に選出し、議事に入り下記の議案が審議・承認されました。

★**第一号議案「平成24年度事業報告及び決算」、「同監査報告」**：24年度は、ガーデナ市との姉妹都市締結50周年を記念した市民団の訪問、ガーデナ市公式団の来市、ローゼンハイム市公式団・市民団の来市、いちかわドイツデーの開催、4年ぶりとなる日本語ボランティア養成講座の開催など多くの事業が実施され、各委員会の活動も活発に行われました。決算では青少年代表団樂山市派遣の中止等により収支差引、約155万8千円の残となり約115万円を市へ返還しました。その後監査役から収支決算監査は適正であるとの報告がありました。

★**第二号議案「平成25年度事業計画案及び予算案」**：
25年度の事業では、新たにパートナーシティとなったイッシー・レ・ムリノー市（フランス）からの公式団の受け入れ、昨年度開催されなかった「インターナショナル・デイ・イン・いちかわ」の開催などが予定されています。予算編成で大きな変更があります。収入では従来市からの収入を「補助金」の科目で一括計上していたものが「補助金」と「負担金」に2分されます。負担金とは市との共催事業における市側の負担金です。支出は「事業費」が増え、「事務費」や「人件費」が減額されます。いわば事業単位の予算編成にシフトした形となります。予算規模は1,177万円強で前年よりやや減額しています。

☆第三号議案「組織の改訂及び役員交替」：「イッシ
ー・レ・ムリノー市委員会」が新たな委員会として承認、
発足しました（別掲）。人事では監事に中村祐次、春名
英徳、両氏が選任されました。また、ガーデナ市委員会、
メダン市委員会、ホームステイ・ビジット委員会、PR
委員会の各委員会で新委員長が選任されました（別掲）。

また本総会で、永年IIAの活動に貢献され、この度
IIA監事と行政相談員を退任される、尾籠鉄夫氏に感
謝の意を込めて、表彰および花束の贈呈が行われました。

議事終了後、
大久保市長の
「記念講演」
（別掲）と交流
会が開かれ、交
流会には市長も
参加され、なご
やかなうちにも
活発な意見交換が行われました。（山本 怜）



表彰を受けた尾籠氏

「市川市の現状」

大久保市長記念講演（IIA総会にて）

平成25年度市川市国際交流協会総会で大久保市長による「記念講演」が開催されました。「市川市の現状」と題した講演は約1時間、パワーポイントを使って市の財政、事業、施策などが具体的に紹介されました。ここでは私たちの生活に密着するトピックスを紹介します。

長期事業：25年度完成予定の長期事業は、学校などの耐震化工事、本八幡A地区（京成八幡駅近辺）の開発工事（9月に京成電鉄本社移転予定）、クリーンセンターの10年延命化工事があります。継続事業は、国の事業である外環道の建設が27年度末完成をめざしています。また、都市計画道路3・4・18号により浦安から鎌ヶ谷に通じる道路が整備、付帯の下水道や橋の工事も継続されます。

狹隘道路対策：車のすれ違いが出来ないような狭い道路に「まごころゾーン」という待避スペースを敷設する事業を進めています。用地は対象地区の土地所有者にまごころ、ゆずりあいの精神で協力をお願いし、係る経費などをすべて市の負担で行う制度です。

子育て施策：依然として保育園への待機児童が多く25年度、26年度では定員枠を550名確保していますが、市の努力だけではなかなか解決しない課題です。マンションなどの小規模施設の使用も検討しています。また、医療費助成制度では0歳～中学3年生までを対象に助成しています。

大人の医療：流行がひろがっている大人の風しんに公費助成を決定しました。また自宅介護と医療の連携を図る

「在宅医療連携拠点事業」に基づき、国のモデル事業に参加しています。そのほか、ABC検診と呼ばれる血液検査による胃がんリスク検診も今年度から開始します。

質の高い住環境：今年度から住宅の防災性向上、バリアフリー化、省エネに助成制度を設けます。

屋外では駐車場の緑化（芝など）、花壇設置に助成します。**ガーデニング・シティいちかわ：**植栽帯の花壇化を進めており、ニッケコルトンプラザ前、菅野公民館、行徳駅前広場などに花壇を設置しています。

最後に市長から最新の市川市の標語「うるおいとやさしさのある街づくり」の披露がありました。市川市の付加価値と行政サービスの向上をめざすものとのことです。

（山本 怜）



大久保市長の説明

市・文化国際部国際交流課新陣容

役職	氏名（敬称略）	役職	氏名（敬称略）
文化国際部 部長	安井 誠一（新任）	国際交流課 主任	上田 健二
次長	中田 直喜	主任	宮木 豪明
国際交流課 課長	麻生 文喜（新任）	主任	角田 由貴
副主幹	藤田 俊雄	主事	井関 みどり
主任	矢島 はるな	非常勤職員	佐藤 貴子

平成25年度主要事業一覧（協会主催および各委員会等担当）

表中では下記の略号を使用しています。

協会自主事業＝協会自主、ガーデナ市委員会＝ガーデナ、楽山市委員会＝乐山、メダン市委員会＝メダン、ローゼンハイム市委員会＝ローゼン、ホームステイ・ビジット委員会＝ホーム、日本語教室委員会＝日本語、通訳・翻訳委員会＝通翻、異文化交流委員会＝異文化、外国人委員会＝外国人、青年部会＝青年、PR委員会＝PR、イッシー・レ・ムリノー市委員会＝イッシー

月	担当	行事内容	月	担当	行事内容
5	協会自主 ホーム バディーズ バディーズ I V I S	新入会員及び会員のつどい ガイドブック作成・会議 お茶と着付け(8、1月を除く毎月) 手作り小物 バスツアー	10	協会自主 日本語	インターナショナルデイ・イン・いちかわ (各委員会参加) 日本語講習会(ボランティア対象)
6	ガーデナ 乐山 乐山 メダン・青年 ホーム 日本語 日本語 異文化 外国人 バディーズ	日本の伝統行事・文化を学ぶ 世界遺産を学ぶ～中国編 中国に関する講演会 派遣青少年オリエンテーション (6～7月計7回開催) 千代紙人形づくり講習会・会議 全体会議 I I A子供日本語教室開設(予定) 第1回交流会「世界の料理」 バスハイク「筑波宇宙センター」 創立21周年パーティー インターナショナルデイ練習(6、7、9、10月開催)	11	市川市 ホーム 日本語 異文化 外国人 バディーズ バディーズ I V I S	市民まつり参加(各委員会) フランスのお茶会と文化を知る・会議 バスツアー 第3回交流会ワークショップ「災害時私にできること」 秋のハイキング「浅草、押上、柴又」 小旅行 フィリピンダンス 外国人相談窓口研修会
7	協会自主 異文化 青年 バディーズ I V I S	イッシー市公式団・市民団来市 第2回交流会「もっと知りたいペルー」 市内留学生との交流 中国料理 外国人相談窓口研修会	12	バディーズ バディーズ	クリスマス会 茶話会
			1	異文化 バディーズ バディーズ	交流パーティー 新年会 ヨガ
8	協会自主 協会自主 協会自主	メダン市への青少年派遣及び帰国報告会(メダン、青年、参加) ガーデナ市派遣生受入れ(ガーデナ、ホーム、青年、参加) サバイバル日本語教室(日本語、異文化、外国人、参加)	2	ガーデナ ホーム 日本語 異文化 バディーズ I V I S I V I S	大使館訪問または研修会 韓国料理・会議 全体会議 第3回交流会「文化トーク」 タイ料理・会議 20周年行事 公開英語講座
9	外部事業 ガーデナ ホーム 異文化 バディーズ	ドイツデイ参加(各委員会) 世界遺産を学ぶ～カナダ・南米編 着付け教室・会議 第1回バスツアー 日本料理	3	ガーデナ ホーム 異文化 青年 バディーズ	全体会議・会員のつどい 全体会議・反省会 第2回バスツアー 全体会議 ネスレ講習会

上記の他、通年実施が予定される事業等

☆通訳・翻訳委員会：日本語に不自由を感じている市内在住外国人に対する支援。市川市と友好関係にある海外都市からの来訪者支援。要請に応じ市の公文書などの翻訳。通訳翻訳のための勉強会(英、独、中)を各1回/2ヵ月程度実施。

☆PR委員会：I I Aニュースの編集発行(年6回)、I I Aホームページの更新(毎月)

☆乐山委員会：「初級中国語教室」を4月より夏季を除く毎月開催

☆日本語教室委員会：通年スケジュールに基づき日本語教室を運営

☆I V I S：市より委託されている「外国人相談窓口」の運営

平成25年度の抱負！

(各委員長などトップに聞く)

◆ガーデナ市委員会 委員長 井上 富美子 (新任)



今年度春名委員長の功績を引き継ぎ委員長に就任いたしました。ガーデナ市青年の受入れ、インターナショナルデイと市民まつりへの参加など5都市委員会とも協力し、成功させる事を目標に、会員相互の絆が強くなることを願っています。

◆ホームステイ・ビジット委員会 委員長 永長 剛 (新任)



平成7年度には市川市国際交流課に勤務していました。去年の春まで東部公民館長をし、そこでホームステイ・ビジット委員会リーダーの野口さんと知り合って、この委員会のお世話になっています。よろしく願いいたします。

◆メダン市委員会 委員長 高栖 利臣(新任)



市川市文化交流の先駆としてメダン市委員会は熱意に燃え、注目を浴びていました。しかし残念ながら、今は忘れられた存在になりましたが、先輩方が点じた伝統の聖火を消さないよう引き継ぎ、出来れば復活を期待しております。

◆樂山市委員会 委員長 大川原 常雄

日中関係の悪化に伴い樂山市との交流は途絶えておりますが、委員会活動は活発です。中国語講座・横浜中華街訪問・市内外の中国関連施設見学・中華料理を食べながらの中国の方々との交流など、いろいろと楽しい企画を考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

◆ローゼンハイム市委員会 委員長 藪田 義雄

25年度の最大の抱負はローゼンハイム市との交流を益々深くするために、ドイツ語の講座や「世界遺産ドイツ編」のような講演会へ多くの会員の参加を求め、更に「ドイツデイ」を楽しい交流の場にしたということです。

◆日本語教室委員会 委員長 鈴木 昭治

地域の外国人の日本語習得、日本人との会話、言葉上の不便軽減、日本文化・習慣の習得をお手伝いし、日本での生活が思い出深いものとなるよう願っています。市内に日本語教室が18か所あり、ボランティアの創意で、特長ある教室を運営しております。本年度は市川地区に子供向け教室を開設する予定です。

◆通訳翻訳委員会 委員長 大内 圭二

例年の事ですが、会の目的である、在住外国人に住みやすい環境作りのため、通訳・翻訳ボランティア活動を市の公共機関との連携を密にし、適時に行い活動の場を広げます。同時に各言語グループの勉強会を通して、より多くの会員の方にこの活動に参加頂ける環境作りを行います。

◆異文化交流委員会 委員長 村井 美和

今、日本を取り巻く国際情勢は決して穏やかではありませんが、それは国と国との摩擦が引き起こしている事。私たちはここ市川で、「一緒に暮らす仲間」として、外国人住民との共生を<楽しく>そして<暖かく>進めていきましょう！

◆外国人委員会 委員長 石原 美佐子

会員数60名程度と小規模ですが、最近では新会員の方々が活躍して下さり嬉しく思います。今年の抱負としては、外国人・日本人、両方の会員の拡大を図りながら、役員会を活性化させ、外国人委員会ならではの企画と実施を行い、誰もが安心安全に暮らせる市川作りをめざして、地域に貢献していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

◆青年部会 部会長 吉原 稔貴

青年部会は姉妹都市派遣生OB・OGによる若い世代を中心とした団体で、主な活動として青少年交流事業、市民まつりへの参加、募金活動などを行っています。今後は元派遣生のみならず市内の学生や在住外国人留学生との交流の機会も設けていきたいと考えています。

◆パディーズ 会長 山本 純子

主婦による主婦のための地域密着型国際交流・・・それがパディーズです。創立21周年を迎える今年は、10月20日に行われるインターナショナルデイで、みんなが楽しめるステージにしよう！と歌や踊りを企画中です。外国人の皆さん、一緒に踊りませんか？

◆IVIS 会長 杉原 洋子

今年度は創立20周年を迎えます。困っている外国人のお役に立ちたい、英語の勉強をしたいと8人の有志で始まったこの会ですが、今では50名近くになりました。輪を広げ、さらなる歴史を刻んでいきたいと願います。

◎イッシー市委員会およびPR委員会は別掲

市川市在住外国人登録者数及び上位10カ国の人数 2013年3月31日現在 ()内は前年同月数

①中国	4,969(5,436)	②韓国	1,405(1,489) 注	③フィリピン	1,288(1,360)	④インド	444(540)
⑤タイ	388(413)	⑥ネパール	360(281)	⑦ペルー	238(274)	⑧米国	277(202)
⑨ベトナム	197(174)	⑩スリランカ	138(180)				
総計	94カ国	11,268人	(98カ国 12,030人)	市川市総人口	468,367人	(470,952人)	

注) 今号から韓国と朝鮮を分割して表示。朝鮮は88(89)



イッシー・レ・ムリノー市委員会発足

平成25年度IIA総会にて「イッシー・レ・ムリノー市委員会」の発足と新委員長の選

任が承認されました。イッシー・レ・ムリノー市（以下、イッシー市という）と市川市は共にパリ、東京という大都市に隣接、情報通信技術の積極的な取り入れなど共通点が多く2009年以来交流を続けてきましたが、2012年10月「パートナーシティ締結に関わる盟約書」に調印し、正式にパートナーシティとなりました。

IIAでは新委員会の会員を募集しています。今後のイッシー市との相互訪問など交流に興味のある方、是非この機会にご参加ください。

新委員長に就任した野澤順治氏（写真）からコメントをいただきました。「この度委員長に就任しましたが、正直非常に戸惑っています。7月上旬にはイッシー市から訪問団が来市とのことですが、市と連携しながら交流・親善に努めたいと思います。会員皆様の切なるご協力をお願いいたします」（山本 怜）

5～7月のイベント情報

◆「小物作り」（バディーズ）

日時： 5月17日（金）10：00～15：00

場所： 駅南公民館

持ち物： 針、糸、はさみ

参加費： 昼食込み 600円

要事前連絡：山本：Tel 047-332-6570

◆「中国語勉強会」（通訳・翻訳委員会）

日時： 5月26日（日）13：30～15：30

場所： 市民談話室集会室2

問合せ：栗田：Tel 047-323-3041（夜間）

◆「第一回交流会「作って食べよう世界の料理」

（異文化交流委員会）

日時： 6月9日（日）10：00～

場所： 市川公民館調理実習室

連絡：村井：Tel 047-379-3737

◆「第一回全体会議」（異文化交流委員会）

日時： 6月9日（日）14：00～

場所： 市川公民館調理実習室

連絡：村井：Tel 047-379-3737

◆「千代紙人形手作り」

（ホームステイ・ビジット委員会）

日時： 6月15日（土）13：30～15：30

場所： 市民談話室第1集会室

講師： 名取講師

参加費： 材料費 200円

申込み：野口：Tel 047-339-6430

Fax 047-339-6439

定員25名

◆「筑波バスツアー」（外国人委員会）

日時： 6月16日（日）9時市川市役所集合

行先： 筑波宇宙センターなど

参加費： 大人（高校生以上）300円、子ども 無料
昼食は各自負担

問合せ： Ishihara : Tel 080-5939-1117

申込み： Fax 047-711-5709

E-mail miracle13@ezweb.ne.jp

◆「日本の伝統文化を学ぶ」（ガーデナ市委員会）

日時： 6月28日（金）13：30～15：30

場所： 市民談話室5階集会室4

講師： 井上 馨 先生

参加費： 無料

申込み： 先着40名様まで

吉田： Fax 047-336-3352

◆「中国料理」（バディーズ）

日時： 7月5日（金）10：00～13：00

場所： 駅南公民館3F調理室

費用： 600円（予定）

持ち物： エプロン・三角巾・布巾

連絡： 山本：Tel 047-332-6570

◆「中国語勉強会」（通訳・翻訳委員会）

日時： 7月14日（日）13：30～15：30

場所： 市民談話室集会室

問合せ：栗田：Tel 047-323-3041（夜間）

*新会員を歓迎します

◆「イッシー市公式団・市民団」（イッシー市委員会）

日時： 7月8日～11日（予定）

詳細： 未定

各委員会終了行事の報告

《満開の桜に囲まれて！》真間ハイキング（楽山市委員会）



3月23日(土)、例年よりも大幅に開花が早まり、桜満開の佳き日、汗ばむほどの晴天でしたがお昼頃から花曇りに変わり、快適なハイキングとなりました。今回の市川市内を歩く企画は初めてで期待が膨らみました。JR市川駅に午前10時に集合、まずは真間駅前銀座通りを闊歩。少し離れたところから見ましたら春めいた服装の皆さんがウキウキ気分の軽快な足取りで素敵でした。真間川に着くと桜並木が広がり、美しい！春爛漫！日本人に生まれ良かったと感動。でも、やっぱり花より団子と米の雫が欲しいとの欲望と葛藤しつつ、並木道沿いに立つ万葉集の歌板を拾い読み。いにしえの人の心に交錯の思いを馳せ、お喋りと

花見を満喫しました。あっという間に、須和田公園へ。これまた、満開の桜に心を奪われ、市川楽山両市の記念石碑を観て、郭沫若記念館に到着。念願の芝桜は三分咲きで水仙や菜の花とハーモニーを成して綺麗にあでやかでした。記念館は郭沫若翁が10年間ほど暮らした家で、当時、地下活動に入った為に忍者屋敷の様に建て直したと説明を聞いてビックリ、時期的にお彼岸でもあり、展示品や資料から、郭沫若翁や夫人、ご家族の遺徳を偲ぶことが出来ました。花見客で賑わう真間地区界隈を歩き周り、市川駅前に戻りアイリンクタワービル展望台へ。白く光る江戸川がアクセントに桜に包まれた市川市街が一望、綺麗な景色！一緒に歩いて食べて話して、皆さんから、桜から、元気を頂いて楽しく過ごした一日でした。
(佐藤 和子)

世界遺産を学ぶ 第3回ドイツ（ローゼンハイム市委員会）

世界遺産を学ぶ」シリーズの第3回は4月5日(金)14時から中央公民館第一会議室で開催されました。

毎回講師を務められている世界遺産検定マイスター、野澤 順治先生をご紹介すると、先生は新潟県出身で市川には30年以上在住、長く教鞭をとられた後、退職後の趣味として偶然世界遺産検定を知り、学習するうちにその奥の深さに魅了され検定マイスターの資格を取るまでになったとのこと。

さて、今回の世界遺産はドイツ連邦共和国です。ドイツには37件の世界遺産が登録され、これは数で世界第5位です。文化遺産が多く、自然遺産として登録されているのは3件だけです。全部を紹介することはでき

ないので、自然遺産2件、文化遺産10件を写真とともに紹介していただきました。



①ワッデン海（自然：北海付近の海岸、湿地帯、多様な動植物の生息地、1万8000羽の渡り鳥）、②メッセルの化石採掘地区（自然：5000万年以上前の堆積物から大量の化石が出土）、③ヴァルトブルク城（文化：11世紀半ばの建築で、宗教改革で有名なマルチン・ルターが迫害から逃れ、かくまわれた城として有名）、④ハンザ都市リューベック（文化：ハンザ同盟の中心都市、トーマス・マンゆかりの地としても有名）、⑤ケルンの大聖堂（文化：632年かけて完成した世界最大のゴシック様式の大聖堂、イラスト）、⑥アーヘン

の大聖堂（文化：8～9世紀の宮廷礼拝堂が起源、世界で最も早く登録された遺産の一つ）、⑦マウルブロン修道院（文化：シュトゥットガルトに近い中世の修道院、後に神学校となり、ヘルマン・ヘッセを輩出したことで有名）、⑧ライン渓谷中流上部（文化：ライン下りで有名な渓谷、自然、古城、ぶどう畑が広がる）、⑨ヴァイマル古典主義文化（文化：18～19世紀に花開いたゲーテやシラーが代表する古典主義の中心地）、⑩ランメルスベルク鉱山とゴスラーの歴史地区、ハルツ山上部の水利システム（文化：10世紀後半からの銀鉱山と麓のゴスラーの街並み）、⑪ヴァイマルとデッサウのバウハウス関連遺産（文化：近代建築の基礎を作ったとされる建築学校バウハウス）、⑫ポツダムとベルリンの宮殿・庭園（文化：サンサーシ宮殿、ルスト庭園、ポツダム宣言で有名）。なお紹介はありませんでしたが、ローゼンハイムがあるバイエルン州にも4つの世界遺産があるとのこと。

最後に野澤講師が昨年行かれた小笠原諸島の紹介がありました。2011年に世界遺産に登録されたのは記憶に新しいところですが、実際にいってみて平均気温23度の亜熱帯気候の中の大自然、一度も大陸とつながったことがないゆえの固有種の動植物、自然保護のための厳格な管理などに感銘を受けたとのこと。

今回も多くの聴講者があり、盛況のうちに終了しました。

(山本 怜)



芳澤ガーデンギャラリーにて

4月14日
春の清々しい
風の吹く中、
今年度第1回
目の行事、春
の散策「芝桜
と中国と市
川」を行いま
した。午後か

ら京成市川真間駅付近に集合し、6歳から80歳までの参加者30名が目的地に向かって歩き始めました。

まず向かったのは、芳澤ガーデンギャラリーです。美しい館内の展覧会を見たり、新緑の庭園を見てまわり、早咲きの藤の花の前では、入れ替わり立ち替わり写真撮影。集合して、市川案内人の会の方からの解説を伺い、須和田公園へ。ここは、3月に整備が完了し、花がきれいに咲いていました。また第2中学校校庭側の桜が満開で、思いがけなくお花見を楽しめました！この散策で参加者が一番期待している郭沫若記念館は、須和田公園のすぐ近くですが、そこへ向かう前に 須和田公園内の郭沫若の記念碑「別須和田」を訪れ、当時の市川の様子や郭沫若の暮らしについてお話をきき、理解を深めました。

一同はいよいよ、郭沫若記念館へ。入口に着くと、ピンク、白、薄紫と色とりどりの芝桜が目の前に広がり、あまりの美しさに皆熱心にシャッターをきります。敷地

異文化交流委員会全体会議

3月9日市民談話室に田中・成田両副会長をはじめ30名余が集まり12年度の総括と13年度の方針が話し合われました。

12年度で特に好評だったイベントは2回のバス旅行。紅葉真っ只中の養老溪谷と旧正月の横浜中華街。共に参加者多数で抽選になってしまいました。参加できなかった人からは、もっと参加費が高くてもいいので行きたかったという要望もありました。文化・教育面では、小学校への出前授業を2回。台湾とスリランカ。子供達は異文化を知り、大喜びでした。でもゆとり教育の見直しからか、最近この要望が減ってきてしまったのは残念です。

内は、一周できるように歩道があり、太陽の光輝く芝桜の花畑の中を進んでいくと、菜の花の香りや清楚なすずらん、水仙も楽しむことができました。館内には、中国の教科書に出ているという郭沫若氏の年表や衣装、直筆の手紙等があり、当時3人の妻をもっていたこと、息子の一人がピアニストになって活躍していることを知り、驚くとともに、約100年前私達の地域で実際暮らしていた郭沫若を支援した市川の人々との交流に、思いをはせました。今回は、4月に日本へ来たばかりの中国からの留学生が多く参加されていたので、施設の説明や注意事項など中国出身の会員が通訳として大活躍でした。片言の日本語での交流でしたが、若い学生の皆さんに市川市が中国との文化交流を大切にしていると感じてもらえたのではないかと思います。後日お礼のメールが届き、そこには「日本人は優しい」「日本が好きになりました」「もっと、日本語勉強します」というメッセージがあり、大変嬉しく感激しています。

多国籍のスタッフ反省会では、「今回の出会いを大切に、在住外国人にとって役立つことをしていきましょう」と意見が一致、外国人委員会として何ができるかを考えるきっかけとなりました。ご協力頂きました施設関係者、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。

(外国人委員会委員長 石原 美佐子)

(異文化交流委員会)

他には韓国、インドネシア文化紹介、餅つき大会、料理教室など多彩な催しがありました。

2013年度は、楽しい異文化交流も継続して行っかけてゆきますが、防災・減災意識の向上にもっと力を入れて行く予定です。日本人もそうですが、外国人も防災意識はあっても、実際にどうすればいいのか、実行している人はあまりおりません。自然災害にあった時、自分では何ができて、何ができないのでしょうか。災害にあう前に、何を準備しておくべきなのでしょう。みんなで考えてゆく年にしたいと全体会を締めくくりました。

(篠原 剛)

新入会員の紹介 (3~4月)

氏名・ふりがな(国籍) ①性別 ②使用可能言語 ③希望する委員会 ④趣味・特技

委員会等の略号: ガ=ガーデナ、楽=楽山、メ=メダン、ロ=ローゼンハイム、ホ=ホームステイ、日=日本語教室、通=通訳翻訳、

異=異文化交流、外=外国人、イ=イッシー・レ・ムリノー、パ=パティーズ、I=IVIS

敬称略

☆町田 孝道・まちだ たかみち(日本)①男②仏③通、異
☆劉 平・りゅう ぴん(中国)①女②中国③楽、通、異、
外

☆清水 敏正・しみず としまさ(日本)①男②英③ガ、通
④サッカー、映画鑑賞

(次ページへ続く)

☆佐野 栄・さの さかえ(日本)①男③口、ホ、異、外
 ☆狭川 章子・さがわ しょうこ(日本)①女③バ
 ☆本間 未紗子・ほんま みさこ(日本)①女②英③通、異
 ④スポーツ、アウトドア
 ☆金子 眞樹子・かねこ まきこ(日本)①女②英③通、異
 ☆麻生 文喜・あそう ふみよし(日本)①男 市職員
 ☆角田 由貴・つのだ ゆき(日本)①女 市職員

☆ロペス クリステイーナ (スペイン) ①女②スペイン
 ③異
 ☆ロスタミ ミナ (イラン) ①女②イラン③異
 ☆根岸 エリザベス・ねぎし えりざべす (フィリピン)
 ①女②フィリピン③異
 ☆直木 圭・なおき けい(日本)①男③日

法人会員紹介 (第12回)

トップツアー株式会社



創業50余年、支店開設30周年を新たな飛躍の年に

弊社は、2006年会社創立50周年を迎え、社名を「東急観光株式会社」から「トップツアー株式会社」に改め、新たなスタートを切りました。新社名の「トップツアー」は弊社の商品ブランドとして長く親しまれており、今後もより一層、皆様との関わりを大事にしていきたいという私たちの気持ちをこの社名に込めております。

弊社は創業時より、団体旅行を得意分野の一つとし、教育関係、企業・法人、官公庁といった皆様から広くご利用いただいております。渉外営業を事業の核として展開しております。当社の渉外営業担当者は、旅のコンサルタントとして、豊富な経験と知識で、お取引先の立場に立ったさまざまな企画のご提案をさせていただきます。

一方、私ども「市川支店」は、1983年に本八幡駅前に開設され、お陰様で本年30周年を迎えました。また、IIA法人会員加入からは、およそ10年が経過し、加入以前からも旅行者として、協会主催、市川市主催の様々な国際交流事業のお手伝いをさせていただいており、関係各位、市民の皆様には大変お世話になっております。

今後は、旅行者としてのみならず、市内の一企業・一会員として、海外友好都市の方々と市川市民の橋渡しに、我々のノウハウを大いに活かし、民間国際交流を深化させて行きたいと念じております。これからも、市川市民の皆様にお支えいただき、さらなるご指導を賜り地域の発展に貢献できますよう邁進してまいります。

すべては市川市と市民とともに・・・。

トップツアー株式会社市川支店 支店長 川西 秀樹

市川市多言語電子メールのご案内 *Ichimail*

市川市多言語電子メール配信事業「イチメール」にご登録いただくと、携帯電話やパソコン、スマートフォンへ多言語メールマガジンが配信されます。メルマガでは楽しいイベント情報や市からの大切なお知らせを配信します。現在は、英語での配信を行っておりますが、6月から「やさしい日本語」(ひらがな)での配信も開始いたします。

メルマガ配信をご希望の方は以下の方法で登録してください。

1. QRコードを読みとるか、以下のアドレスに空メールを送信してください。
2. 登録を確認する返信メールが届きましたら、登録完了です。(市川市・国際交流課)



eng@ichimail.city.ichikawa.chiba.jp

編集後記

前号の乙幡前委員長による編集総記の続編です。総記には、実績として会報を年に6回、プランから印刷までを「オール自作戦」で発行。課題は外国籍の方たちへの情報発信力の向上、会員のニーズへの対応、防災対策への支援でした。

これらの課題に対応できる大きな力の一つはITではないでしょうか。ホームページを充実させて、IIA、各委員会の重要な情報、楽しい企画を皆様にタイムリーにお知らせできればと思っております。

そして会報はまだ日本語ですが、ホームページではまずは英語での情報発信を充実させ、将来的には中国語にも対応できるようにと考えています。

災害発生時には、役立つ情報をホームページを使い、いち早く皆さんに知らせることができ、そんなPR委員会をめざします。

「思います」「考えます」が多い後記になってしまいました。PR委員一同ががんばって「しました」報告ができるよう努力します。申し遅れました、私新PR委員長の篠原 剛です。よろしくお願いたします。



篠原PR委員長